

第3学年社会科学学習指導案

日 時 平成27年10月26日(月) 第5校時 13:50~14:35

研 究 主 題

よりよい地域にしたいと願う子どもの育成

～自分と地域の人々とのかかわりを捉え、考えを深める指導の工夫～

1 単元名 「働く人とわたしたちの暮らし」

小単元名 「店で働く人と仕事」

2 小単元の目標

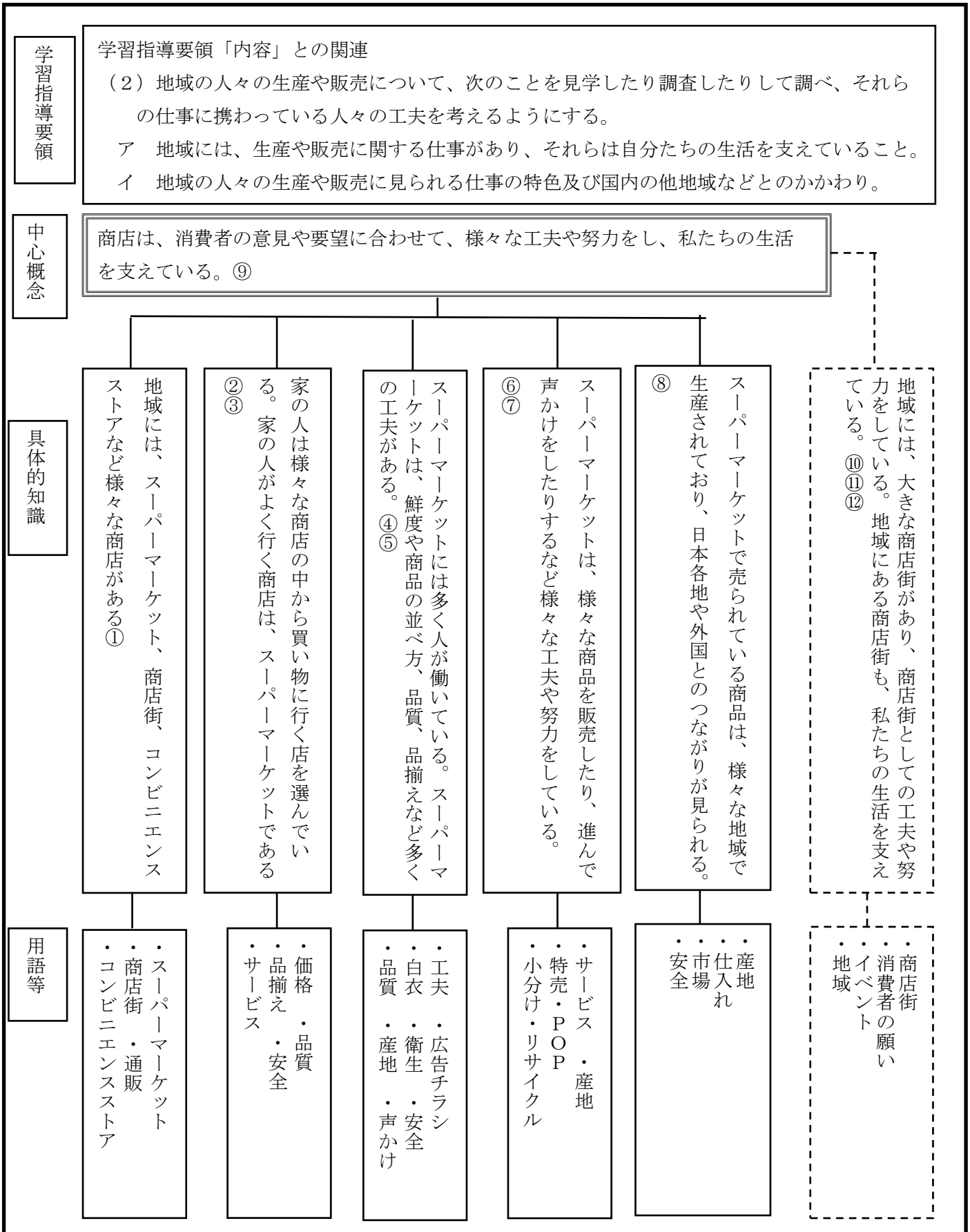
買い物調べや商店の見学を通して、販売の仕事の様子、商品を通じた他地域とのつながりについて調べさせ、販売に携わる人々の工夫や努力について考えさせる。

消費者の買い物の工夫と店の販売の工夫とのかかわりについて考えさせ、販売の仕事が自分たちの生活を支えていることを理解させる。

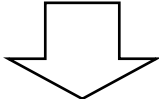
3 小単元の評価規準

評価の観点	評価規準	学習過程の どこで
社会的事象 への関心・意 欲・態度	① 地域の人々の販売の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べている。	つかむ
	② 地域の人々の販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。	ふかめる
社会的な思 考・判断・表 現	① 地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。	つかむ 調べる
	② 地域の人々の販売の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。	まとめる
観察・資料活 用の技能	① 観点に基づいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の生産や販売の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。	調べる ふかめる
	② 調べたことをカードにまとめている。	調べる
社会的事象 についての 知識・理解	① 地域の人々の販売に見られる仕事の特色や国内の他地域などのかかわりを理解している。	調べる
	② 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。	まとめる

4 知識の構造図と育てたい子供の姿



育てたい子供の姿



販売の仕事にかかわる人々の働きに気付き、地域社会に対する親しみをもとうとする子供

5 小单元について

(1) 学習指導要領との関連

本小单元は、学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

(2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

ア 地域には、生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり。

本小单元では、地域にある販売に携わる人々の工夫や努力と自分たちの生活とのかかわりについて考えていく。実際に地域にあるスーパーマーケットや商店街を見学したり、働いている人にインタビューしたりする活動を通して、調べたことをカードにまとめていく。まとめたカードをグループ、全体で共有することで、考えを深められるようにしていく。これらの学習を通して、地域の人々の生活が地域にある商店に支えられていることを考えられるようにしていく。

(2) 教材について

本小单元では、地域にあるスーパーマーケットと商店街を主に教材として扱う。

保護者による事前アンケートによると、36人すべての家庭でスーパーマーケットを利用している。一方、商店街にある個人商店を利用している家庭は、9人である。個人商店を利用している理由を見ると、商品の品質や働く人とのかかわりで利用している実態が見えた。

本小单元で扱うスーパーマーケットは、実態調査から一番多くの保護者が利用している。買い物調べを通して、児童がどうしてこんなに多くの家庭がスーパーマーケットを利用しているのかと疑問をもたせ追及することができる考えた。

本校の近くにある戸越銀座商店街は、全長が約1.3キロメートルの長さを誇る関東一の規模の商店街である。戸越銀座商店街には400軒を超える商店が連ね、平日で一日約1万人が訪れる。児童にとっても学区に位置する商店街は普段から身近に感じられる場所であり、実際に利用している児童も多い。本小单元ではスーパーマーケットについて学習し、さらにそこで獲得した見方・考え方を活用し商店街について追及することで、自分たちの生活が身近な商店の働きによって支えられていることに、より実感的に理解できると考えた。

(3) 児童の実態

省略

6 研究主題との関連

(1) 社会認識を深め、参画意識を培う教材の開発

①地域の特色を実感でき、地域社会に対する関心を高めることができる教材

本小単元では、実態調査で1番多く利用されているスーパーマーケットについて学習を行う。1日に約4000人が利用するスーパーマーケットで働く人々の工夫や努力について調べることで、自分たちの消費生活が商店のはたらきによって支えられている事を実感的に理解する。さらに「ふかめる」では、1日約1万人が訪れる戸越銀座商店街を取り上げて学習を行う。たくさんの人々が利用している商店街の工夫や努力について、スーパーマーケットで獲得した見方や考え方を利用して、見学・調査活動を行う。自分たちの家庭の消費生活からさらに地域の人々の消費生活へ見方を広げていくことで、地域の特色についてより深く理解し、地域社会への関心を高めることができると思う。

②地域の事象や人々と自分とのつながりを捉えられ、地域の人々が社会を形成している姿を実感できる教材

児童は本小単元を学習するまでは、商店で働く人々によって自分たちの生活が支えられていることに気付いていない。本小単元ではスーパーマーケットで働く人を教材化して調査活動を設定し、商店で働く人々は様々な人々と協力していることや他地域とつながりがあることに気付いていく。商店で働く人々の姿から、消費者の願いに応えるために様々な努力を行っている事に気づき、自分たちの生活が支えられていることを実感することができると思える。

(2) 社会認識を深め、参画意識を培う指導の工夫

①学習意欲を高める指導の工夫

1学期に作成した地域の地図を活用し、地域にどのような商店があるかを話し合う。学区域の調査活動やこれまでの買い物体験から、児童の商店へのイメージを膨らませていく。そこで買い物調べを行い、クラスで家庭ではどこで買い物しているかグラフにまとめる。結果から、地域にはたくさんの商店があるのに、なぜスーパーマーケットで多くの方が買い物をしているのか疑問にもち、追及へとつなげていく。

②観察・見学・調査等の体験的な活動の工夫

本小単元では、以下のような体験的活動を学習過程の中に位置づけた。

つかむ 買い物調べ

調べる スーパーマーケットの見学

まとめる お家の方の買い物への願い（アンケート）

ふかめる 戸越銀座商店街の見学、商店街振興組合理事長藤戸さんへのインタビュー

③学び合い、考えを深めあう場の設定

「調べる」では、見学して気付いたこと各自でカードのまとめ、グループで分類を行い、全体での話し合いを行う。見学による発見には個人によって差がある。それぞれの気づきを発見カードにまとめ、小集団で学び合うことで、スーパーマーケットの工夫や努力について事実をもとに各自が考える場を設定した。

「まとめる」では、学び合いで各自が獲得した事実をもとに、事前に調査した「お家の人の買い物に対する願い」を提示し、スーパーマーケットの工夫や努力と買う人の願いを結び付ける活動を行う。学習問題に対する自分の考えを話し合い、考えを深め合う場を設定した。

(3) 社会認識を深め、参画意識を培う評価の工夫

毎時間の児童の疑問や考えなどをノートに書かせることで児童の変容を読み取っていく。児童が学習問題を見出し、予想をもとに探求していく中で地域社会の商店の働きについて理解を深めていく。1時間毎の振り返りにおけるノートの記述から、地域の商店で働く人々の工夫や努力の意味について思考の変容、認識の深まりについて評価していく。

7 小単元の指導計画と評価計画（12時間扱い）

過程	指導のねらい	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆指導上の留意点 ☆資料 ◎学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
つかむ	①自分たちの買い物体験について話し合い、地域には様々な商店があることや身近な人々の買い物に関心をもつ。	○1学期に作った地域の地図を見て、地域にはどんな商店があるか話し合う。 ・たくさんの商店街がある。 ・スーパーマーケットがある。 ・コンビニエンスストアもある。 ○自分たちの買い物に行った経験や家の人がどこで買い物をしているか話し合う。 ・スーパーマーケットでよく買い物をしている。 ・商店街のお肉屋さんにコロケを買いに行くお使いをしたよ。 ・お客さんが来るときお魚屋さんにお刺身を買に行ったよ。	☆1学期に作った地域の地図 ◆気が付いたことを書かせることで、興味をもたせる。 ◎家の人が買い物でよく行く店や商品について興味関心をもち、進んで調べようとしている。 アー①【関】(ノート)
スーパーマーケットにたくさんお客さんが行くのはどうしてだろうか？			
	②買い物調べの結果をグラフにまとめ、スーパーマーケットで一番買い物していることを知り、学習問題をたてる。	○買い物調べの結果をもとに、よく行く商店についてグラフにまとめる。 ・スーパーマーケットにすごく行っているね。 ・商店街で買い物している人もいるね。 ・いろいろなお店で買い物しているね。	☆保護者の買い物アンケートの結果を整理した表 1学期に作った地域の地図 ◆グラフを見て分かったことや気が付いたことを書かせる。 ◎スーパーマーケットに多くの人が行く理由を予想し、学習問題をつくり、学習計画を考え表現しようとしている。 イー①【思】(ノート)
	③学習問題の答えを予想した後、学習計画を立てる。	○たくさんのお客さんが行くスーパーマーケットの店内のイラストからお客さんがたくさん行く理由を考える。 ・商品がたくさんあるから ・どこに商品があるかわかりやすく表示してあるから ・白衣を着て調理しているから ・笑顔で接客しているから ・野菜を切って小分けにしているから ○予想から学習計画を立てる。 ・スーパーマーケットを見学する。 ・働いている人に話を聞く。	☆スーパーマーケットの店内のイラスト ◆イラストを見てお客さんが来る理由を予想して、ノートに書くようにする。 ◆予想をもとに、何を見学するか見学の視点をもつようにする。 ◎スーパーマーケットに多くの人が行く理由を予想し、学習問題をたて、学習計画を考え表現している。 イー①【思】(ノート)

し ら べ る	④⑤スーパーマーケットを見学し、商店が様々な工夫や努力をしていることに気付くことができるようにする。	○スーパーマーケットを見学し、工夫や努力を知る。 ○働いている人の話を聞き、メモを取る。 ○商品・働いている人・お店の様子の3つの視点で見学する。	☆スーパーマーケット ◆見学の視点をもとに、分かったことを見学メモに書かせる ◎見学したり、インタビューしたりして、商店の仕事の様子について必要な情報を集めることができる。 ウー①【技】(見学カード)
	⑥⑦見学して発見した工夫を個人でカードに書き、全体でまとめる。	○見学して見つけた工夫を発見カードに個人で書く。 ・同じ商品もたくさんあったよ。たくさんの商品から選べることはとても便利だよ。 ・袋詰めを手伝っていた。だから、小さい子供がいても買い物に行きやすい。 ・きたお客さんに特売のチラシを配っていたよ。お買い得の品があることを知るとまた買い物に行きたくなる。 ○発見カードをもとにグループでまとめたあと、考えをまとめる。 ・たくさんの商品を売っていた。だからお客さんは一度にいろいろなものを買うことができる。 ・特売のチラシを配っていた。だから安く買いたいという願いをかなえることができる。 ・産地が商品には書いてあった。産地を知りたいという願いに応えていた。 ・たくさんの商品はどこから来るのか。	☆見学カード ◆見学カードをもとに発見カードを書かせる。 ◎見学調査したことを発見カードにまとめている。 ウー②【技】(発見カード) ☆発見カード ◆調べた事実から働く人の工夫や努力について考えを書くようにする。 ◎見学したり、調べたことを発見カードにまとめたりすることができる。 ウー②【技】(見学カード)
	⑧スーパーマーケットで売られている商品は、国内外から仕入れていることを知り、私たちの生活は他地域とかかわっていることに気付く。	○発見カードや店内の写真、チラシから、商店にある商品は様々な地域から来ていることを知る。 ○品物の産地を地図で確認し、地図をもとに、他地域とのかかわりについて分かったことを発表する。 ・日本各地から商品が運ばれてくるよ。 ・外国からきている商品もあったよ。 ・私たちが買っているものは、いろいろなところから来ているんだね。	☆発見カード 店内の写真 チラシ 商品のパッケージ 日本地図 ◆地図にある自分たちの地域を確認し、国内外の産地から自分たちの地域に矢印が集まっていることに気付かせる。 ◎商店が、商品の仕入れを通じて、国内外の他地域とかかわっていることを理解している エー②【知】(ノート)

<p>まとめる</p>	<p>⑨学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>○お家の人の買い物に対する願いを知る。 ・新鮮・品揃え・値段・親切 ○発見した工夫とお家の人の買い物に対する願いを関連付ける。 ○学習問題に対する自分の考えをノートに書き、グループで交流する。 ・スーパーマーケットは、買い物に来ている人の願いを叶えている。だからたくさんの方が買い物に行く。 ・スーパーマーケットは私たちのことを考え、たくさんの方の工夫や努力をしている。だから、たくさんの方が買い物に行く。 ・地域の他のお店はどのような工夫をしているのかな。 ・商店街にあるお店はどのようなのかな。</p>	<p>◆スーパーマーケットはどうして工夫しているか保護者の願いをもとに関連付ける。 ◎商店の仕事に携わる人は、消費者の願いに応えるために様々な工夫や努力をし、私たちの生活を支えていることを理解する。 エー①【知】(ノート) ◆3色の付箋を用意し、同じ意見、なるほどと思ったこと、もっと教えてほしいと思った友達の意見に付箋を貼る。 ◆グループで意見を交流することで、全員が自分の意見を伝えたり、友達の意見を知ったりできる時間を作る。</p>
<p>ふかめる</p>	<p>⑩戸越銀座商店街でも買い物をしていることを確認し、商店街について関心をもつ。</p>	<p>○買い物調べアンケートの表から商店街で買い物をしていることを知る。 ○商店街の長さや軒数、一日の来街数を知り、商店街について関心をもつ。 ・どうしてこんなに来るのかな ・戸越銀座商店街も工夫や努力をしているのかな ・スーパーマーケットは、たくさんの商品があったけど商店街はどうか知りたい。</p>	<p>☆1学期に作った地域の地図 保護者アンケートをまとめた表 戸越銀座商店街の写真 ◆一日に1万人もの人が訪れている事実から問いを見出す。</p>
<p>一日に1万人が来る戸越銀座商店街の秘密を見つけよう</p>		<p>○戸越銀座の秘密を予想する。 ・スーパーマーケットと同じような工夫をしている。 ・スーパーマーケットよりお客さんがくるから、もっと工夫をしているはず。 ・お店が多いからたくさんのお客さんが来る。 ・スーパーマーケットにはない工夫があると思う。 ・イベントに行ったことがあるよ。</p>	<p>☆戸越銀座商店街のパフレット 戸越銀座商店街地図 戸越銀座商店街のポスター ◆これまでの経験をもとに戸越銀座商店街に多くの方が訪れる理由を予想し、追及の視点をもつようにする。 ◎地域の症の働きに関心をもち、追及しようとしている。 アー②【関】(ノート)</p>

<p>⑪戸越銀座商店街を見学し、工夫や努力を見つける。</p>	<p>○一日1万人が来る戸越銀座商店街の秘密を見学し見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の飾りつけがある。 ・にぎやかでお祭りのようだ。 ・商店街の看板がたくさんあった。 ・戸越銀座商店街の商品があった。 	<p>☆戸越銀座商店街 見学カード デジカメ</p> <p>◆</p> <p>◎見学を通して、商店街で働く人や商店の様子、商店街としての取り組みを調べる。</p> <p>ウー②【技】(見学カード)</p>
<p>⑫見学して気付いたことや商店街の理事長さんの話から、商店街の秘密を考える。 (本時)</p>	<p>○1日1万人が来街する見付けた秘密を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街で放送をして、お知らせを伝えていた。 ・お休み処があって休憩ができる。 ・商店街としてイベントをしたり、マスコットを作ったりしていたよ。 ・店の数が多いよ。 ・とても長くていろいろなお店がある <p>○どんな思いで見付けた秘密を行っているのか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとお客さんに来てほしい。 ・もっと戸越銀座について知ってほしい。 <p>○商店街の理事長藤戸さんの話を聞く。</p> <p>○これまでの学習をふり返り、戸越商店街について考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は商店街の人たちは地域のことをとても考えていること思いました。 ・商店街で働いている人もたくさん工夫や努力をしていることを知ることができてよかった。 ・戸越商店街がわたしたちの街にあってよかったなと思いました。 ・今度戸越銀座商店街に買い物に行きたいです。 	<p>☆見学カード 商店街の写真 商店会長さんの話</p> <p>◆3色の付箋を用意し、同じ意見、なるほどと思ったこと、もっと教えてほしいと思った友達の意見に付箋を貼る。</p> <p>◆グループで意見を交流することで、全員が自分の意見を伝えたり、友達の意見を知ったりできる時間を作る。</p> <p>○商店街のお店で働く人たちと自分たちの生活について考え、自分たちの地域の一員として地域の商店に親しみを持ち、これからも関わっていこうと考えている。</p> <p>アー②【関】(ノート)</p>

8 本時（全12時間中の12時間目）

(1) ねらい

見学して気付いたことや商店街の理事長さんの話から、地域の商店の働きと自分たちの生活とのつながりに気付き、これからのかわりについて考えている。

(2) 展開

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	◆指導上の留意点 ☆資料 ◎学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
つ か む 8 分	<p>○戸越銀座商店街を見学して気が付いたたくさんのお客さんが来る秘密を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントのポスターが貼ってあった。 ・ 観光ガイドや商店街の地図があった。 ・ 商店街で放送をして、お知らせを伝えていた。 ・ お休み処があって休憩ができる。 ・ 商店街としてイベントをしたり、マスコットを作ったりしていたよ。 ・ 店の数が多いよ。 ・ とても長くていろいろなお店があるよ。 <p>○どんな思いで見つけた秘密を行っているのか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっとお客さんに来てほしい。 ・ もっと戸越銀座について知ってほしい。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>◆指導上の留意点 ☆資料</p> <p>◎学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)</p> <p>☆見学カード 戸越銀座商店街の写真</p> <p>◆見学メモをもとに見つけた秘密を発表させる。</p>
調 べ る 7 分	<p>○商店街の理事長藤戸さんに商店街の工夫や努力について話を伺う。</p> <p>「地域のことを一番に考えている」</p> <p>「地域にみんなに一番来てほしい」</p>	<p>☆商店街の理事長藤戸さんの話</p>
ま と め 30 分	<p>○これまでの学習をふり返り、戸越商店街について考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は商店街の人たちは地域のことをとても考えていること思いました。 ・ 商店街もたくさん工夫や努力をしていることを知ることができてよかったです。 ・ 戸越商店街がわたしたちの街にあってよかったなと思いました。 ・ 今度戸越銀座商店街に買い物に行きたいです。 <p>○児童の意見を聞いた商店街の理事長藤戸さんに感想を伺う。</p>	<p>◆3色の付箋を用意し、同じ意見、なるほどと思ったこと、もっと教えてほしいと思った友達の意見に付箋を貼る。</p> <p>◆グループで意見を交流することで、全員が自分の意見を伝えたり、友達の意見を知ったりできる時間を作る。</p> <p>◎商店街のお店で働く人たちと自分たちの生活について考え、自分たちの地域の一員として地域の商店に親しみを持ち、これからも関わっていこうと考えている。</p> <p>アー②【関】(ノート)</p>

一日に1万人が来る戸越銀座商店街のひみつを見つけよう

9 板書計画

10/27「一日に一万人が来る戸越銀座商店街の秘密を見つけよう」		
<p>調べたこと</p> <p>戸越銀座商店街には・・・ (事実)</p>	<p>商店街理事長さんの話</p>	<p>社会科日記(学習感想)</p> <p>驚いたことと疑問に思ったこと、学習前後でどう思ったか またこれからどうしていきたいか</p>